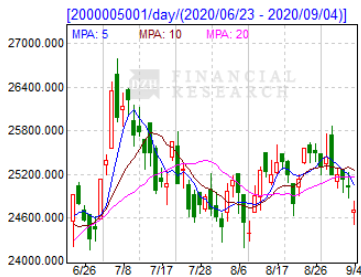


中国株ウィークリーレポート

2020/9/7

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	19年末株価
NYダウ	28,133.31	-159.42	-0.56	-1.82	-1.42	28,538.44
NASDAQ	11,313.13	-144.97	-1.27	-3.27	26.09	8,972.60
日経225	23,205.43	-260.10	-1.11	1.41	-1.91	23,656.62
上海総合	3,355.37	-29.61	-0.87	-1.42	10.01	3,050.12
滬深300 (CSI300)	4,770.22	-46.88	-0.97	-1.53	16.44	4,096.58
ハンセン	24,695.45	-312.15	-1.25	-2.86	-12.40	28,189.75
中国企業	9,883.98	-56.15	-0.56	-2.93	-11.50	11,168.06

【株式概況】

先週の動き: ハンセン指数は 2.9%安と反落、上海総合指数は 1.4%安

香港市場ではハンセン指数が 2.9%安と反落した。中国の堅調な製造業 PMI の発表を受けて景気回復への期待が高まったが、中国とインドの衝突やハイテク分野を巡る米中対立の激化、中国の金融緩和期待の後退などを嫌気する売りが強まった。ハンセン指数は 1 日に小幅に反発したものの、4 日には終値で 2 週間ぶりに節目の 25000 ポイント台を割り込む水準まで売られた。本土市場では上海総合指数が週間で 1.4%安と 6 週ぶりに反落。3400 ポイントを上回る水準では利益確定売りが広がり、4 日には約 1 週間ぶり安値をつけた。

今週の展望: 香港市場は不安定な値動きか、IT・ハイテク系銘柄に警戒感

香港市場は不安定な値動きか。ナスダック総合指数の下落で香港市場でも IT・ハイテク系銘柄に売り圧力が強まっており、今週は米国市場の株価動向をにらみながらの展開となりそうだ。中印衝突や米中対立を巡っても緊張が高まっており、関連報道には引き続き敏感に反応しそうだ。一方、本土市場も今週は不安定な値動きが予想される。相場の先高観は根強いものの、今週も複数の経済指標の発表が予定されているほか、中印衝突や米中対立を巡っても材料が出てきやすく、不安定な値動きとなりそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

順位	銘柄名	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1	小米集団 (01810)	24.50	8.89
2	吉利汽車 (00175)	16.34	3.81
3	Link REIT (00823)	63.00	2.52
4	華潤置地 (01109)	36.90	0.41
5	香港証券取引所 (00388)	380.60	0.00
6	舜宇光学科技 (02382)	118.10	0.00
7	中電控股 (00002)	75.30	-0.46
8	ホンコン・ファイナガス (00003)	11.10	-0.54
9	申洲国際集団 (02313)	126.00	-0.79
10	碧桂園 (02007)	9.68	-0.92

▼騰落率下位

順位	銘柄名	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1	チャイ・エコム (00762)	5.29	-7.52
2	葉明生物技術 (02269)	188.20	-6.92
3	中国中信 (00267)	6.83	-6.44
4	交通銀行 (03328)	3.94	-5.74
5	中国海外発展 (00688)	21.55	-5.69
6	石業集団 (01093)	16.12	-5.40
7	中国工商銀行 (01398)	4.26	-5.33
8	恒隆地産 (00101)	20.95	-5.20
9	創科実業 (00669)	95.60	-5.06
10	恒基兆業地産 (00012)	29.30	-5.02

▼今週の主なイベント

- 9月7日(月) 【米国】レイバーデーで休場
- 9月9日(水) 【中国】CPI, PPI(8月)

▼今週の期待材料

- ◆中国の 8 月の景況感がおおむね堅調、国家統計局発表の製造業 PMI は 6 カ月連続で節目の 50 超え
- ◆4 日発表の米雇用統計で 8 月の失業率が予想以上に改善、7 月の 10.2% から 8 月は 8.4%まで低下
- ◆香港の IPO 市場が活況、8 日上場の農夫山泉の IPO 応募額は過去最大の 6424 億 HK ドルを記録

▼今週の懸念材料

- ◆米ナスダック総合指数が先週末にかけ大幅に下落、IT・ハイテク系銘柄に売り圧力強まる公算
- ◆インド政府が 118 の中国系アプリの使用を禁止、国防相会談実施も関係改善見られず軍事的緊張続く
- ◆トランプ政権が中国半導体大手 SMIC の禁輸リストへの追加を検討、米中対立激化に警戒感

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 中国海外宏洋 (00081) : 8月の不動産販売額が 18%増加、1-8月は 2%増
- ☆ 吉利汽車 (00175) : 8月の新車販売台数が 12%増加、1-8月は 11%減
- ☆ 中国中鉄 (00390) : 大型インフラプロジェクト 26 件の受注獲得、総額 371 億元
- ☆ 緑城中国 (03900) : 8月の不動産販売が 49%増加、販売面積は 79%増
- ☆ 睿見教育国際 (06068) : 李会長が株式を買い増し、30 万株を追加取得
- ☆ 海底撈国際 (06862) : 中華料理チェーン 2 ブランドの買収で正式合意
- ☆ 農夫山泉 (09366) : 8日に香港メインボードに上場、応募額が過去最大を更新
- ◇ 中国恒大集団 (03333) : 大規模販促イベントを実施、全国の物件を 3 割値引き
- ★ テンセント (00700) : ハンセン指数の入れ替え発効でウエート低下
- ★ SMIC (00981) : 米政府が禁輸リストへの追加を検討、海外メディアが報道

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。